

掛川市立総合病院・看護部教育委員会

# nurse cap ナースキャップ

教育だより  
No.35

平成14年12月18日



## エルダー 研修

H14.9.18

新人ナースに救急救命法について指導しました。

わたしの手元をしっかりと見るのよ



これは  
こう止めるのよ



ハイ! いきます

エルダー研修で新採用者の救命救急の研修を担当しました。生田中は、挿管、人工呼吸器、午後は、心臓マッサージ、カウンターショックの研修を担当しました。今まで研修の企画をしたことがなく進め方がわかりませんでした。そこで看護部長、看護主任のアドバイスを受けながら企画しました。研修目標が達成できるような仕事の合い間をぬって話し合い、事前の準備をしました。企画をし研修を行うことは、思ったよりとても大変でした。しかし大変だっただけに研修が終わった後の達成感は大きかったです。研修内容で担当者自身、再確認できたこともあり得たものはたくさんありました。

5 西 石田小麻希



4 西 八木 純

前年度まで中堅1で行っていた事例検討が、対象者の年令層が広がって研修しています。若

きは二一年目

(飛び入り)

から二十年目

以上の先輩ま

での十六名で

す。今年度は、

研修担当者も

一緒に参加し

ています。

方法は今までの

ように、まずは自

分の事例をまとめ

ました。講師の山

口先生に見ていただ

いていただきました。

メンバーの事例の中

から二例を選びみんな

でグループワーク

します。

一つの事例をまとめる

のにもまずは

事例の選択から、気

になる事例でも、

書いてまとめていく

ためには、多くの情

## 事例検討



とすぐに忘れてしまうことに改めて

気づきました。その時自分はどう感

じたのか、患者様はどんな反応だっ

たのか。どんな思いだったのか。く

り返し思い出し考えることで、新し

い発見がありました。グループワー

クでもひとつの事象についても、感

じ方は人それぞれです。共鳴する意

見、ちよっと違うなど感じる意見。

双方話し合うことで、お互いが共有

できる場を持たないように思います。

今回はグループ発表です。一つの事

例からどんな違う意見が出るか楽し

みます。

## アクシス看護学校の 成人看護学実習 形態の変更について

副看護部長 杉山登志子

アクシス看護専門学校も開校して十年経過する。その間にかリキラムの改正が数回あった。そのつど学校側と臨床側で会議や意見交換をくりかえし持ちながら実習を受け入れていた。本年9月の臨床指導者連絡会議で学校側から実習病院として「今後の実習のあり方」について意見を求められた。看護一科の主たる実習病院として学生の健に立ち、学生が主体的に実習できる環境づくりをしていきたい。そして学校の教官と現場指導者も達成感を持つる方法を考えたい。そのためには学校と実習病院が学生を中心とした教育計画を持たなければならな



実習風景

い。今回成人看護学実習について内容変更が検討された。まずグループの編成については、グループ4〜5名がグループ2〜3名となる。学生個々の能力や考えをきちんと活かすためには従来の人数では多すぎると考える現場でも学生実習を別枠にとらえず、指導者だけにまかせることなく病棟業務の流れに沿い、部署全体で、全員で後輩指導にあたるという形が望ましいと考える。部長会議や主任会議で内容の説明をしたが、来年一月から2年生の領域別実習を開始することで合意された。今後は現在休会中の院内臨床指導者会議を開催しつつ学生を中心とした成人看護学実習の指導内容を深めたい。

ちよっとホツとするほなし

全国ツーリングを楽しみました

気分爽快です!

4東 青木 徳子

「疲れてしまった時の解消法って、何ですか?」

私にとっての解消法の一つに、ツーリングがあります。バイクって言うと「危険」と思われる人もあるかと思いますが、確かに車と違い転倒すれば、自分の身に降り懸って来ます。けれど、その危険を押し付けても、「乗りたい」気にさせる物でもあるのです。さまざまな様ですが、実際ツーリングしている時、「風」や「温度」を感じるのです。それらを感じながら走っていると、嫌な事も吹っ切れて来ます。これまで、師長さん方に無理を言い、日本全国へと行かせて頂きました。地図を見ながら北へ、南へ、一人で走って行く事での不安を感じる事もありますが、その地方、地方での出会いも、また大切な思い出です。

「日本をほぼ一周した」と言う満足感も、私の中のプラスになりました。三代となり、以前の様に走り回る事は少なくなりました

TURING



が、こうして行って来た事は良かったと思える事の一つです。

「嫌だなー、何かないかなー」と思ってた時は、何か行動に興じてみるのはいかがでしょうか? さっと自分に合った方法が見つかると思います。

## 第41回 自治体病院学会 研究発表

H14・11・14～15 於：グランシップ

### 3階西 横村 通江 (看護)

看護師の希望配置と職務満足度との関係

### 4階東 杉山 久美子 (看護)

末梢静脈留置針挿入部の静脈炎発生の実態を知る

### 4階西 石川 幸子 (看護)

おしぼりタオルの細菌繁殖におけるスチーム型加湿器の有効性の検証

### 4階西 松永 美津代 (看護)

末梢ペニキュラ留置針の挿入部からの液漏れの原因を探る



### 4階西 森下 一枝 (看護)

患者さんにあった口腔ケアを確実に実施する方法

### 5階東 服部 洋子 (看護)

寝たきり患者のこわばっている目やにを、苦痛を与えずきれいに取る方法

### 3階西 吉政 直子 (ヘルパー)

一次消毒の中央化による、消毒薬液の削減



お知らせ

INFORMATION

12月20日(金)  
17:30~

講義室において看護部研究発表会があります。みなさん、ぜひ聞きに来て下さいね。

平成15年1月1日より

看護支援システム 新オーダーリングシステムが稼働します。最初とはまどいもあるでしょうが(習うより慣れる!!)です。がんばりましょう。

# 私の参加した研修

2西 高野真理子

## レスピレーターがぐんぐん好きになる

先日、レスピレーター向けのセミナーに参加させていただきました。今まで、多くのダイヤルが並ぶレスピレーターに対して苦手意識がありました。しかし、今回のセミナーを通して、本当に基礎からわかりやすく講義してもらい、苦手意識が軽減しました。

セミナーでは、演習問題を何度も解くという方法により、患者様が今この状態の時にはこういう診断、対応が考えられるからレスピレーターの設定もこうなっているのだと、具体的に関連づけて考えられました。また、体位変換等、看護援助も多くありそれらも今後

根拠づけて施行していこうと思えました。

やはり、一つ一つの意味を理解して援助していくのは患者様を総合的に把握しより良い看護を提供していく上で大切なことがわかりました。今後も、積極的にこういったセミナーに参加して技術・知識を高める努力をしていこうと思えます。



## 編集後記

今年、ワールドカップサッカーという大イベントもあり、その時は、大いに盛りあがったものでした。早くも年末になり、あの興奮が少のようです。来年も何か胸おどらせるような楽しいことがあるといいですね。あまり良い年ではなかった人、来年は、きっと良いことがありますよ。

久保田

助・産・師・の・取・り・組・み

## 両親学級にて妊婦体験をした夫に思うこと

4西 春田美由紀

近い将来、親になり育児をしていくにあたり、夫の育児参加は押しつけではなく自然に参加してもらいたかった。そのため、今回の両親学級があることを知り、ぜひ夫婦で参加してみようと思った。お互いに知識を深めようと、育児雑誌を見たりしていたものの、やはり紙面上での情報だけではイメージがつきにくいことも多々あった。



両親学級では、十数組の参加があり、私たちもその中に入り一緒に体験・学習した。特に心に残っているのが、夫の妊婦体験であった。これについては、雑誌では学習できない内容のため夫も楽しみにしていた。実際5kgの重りをつけ、掃除や食器洗い、そして、寝起きの動作や階段など日常生活動作まで体験できた。ふだん何気なく行っている階段など妊婦にとっては大変で、足元が見えない怖さなどいろいろな気づきがあったという。

最近では、両親学級で学んだ内容を含め、今までより共通な深い内容で話ができるようになったことや、ふとした時に手を差し伸べてくれるささやかな優しさをうれしく思っている。出産後の不安はあるが、夫と協力し合って育児に取り組んでいこうと思う。

